

守山市水道ビジョン策定懇話会 第4回懇話会開催結果（概要版）

- 1 日 時 令和4年1月26日（水） 午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 守山市役所 3階32会議室
- 3 出席者 〔委 員〕 山田淳会長、西谷順平委員、伊藤五作委員、
三品きぬ江委員、森田重吾委員、山田剛資委員
〔事務局〕 市職員
飯島上下水道事業所長、上畠同所次長
井上施設工務課長、松浦同課工務係長、
小野同課管理係長
中井経営総務課経営係長、久光同課主任
- 4 欠席者 〔委 員〕 北脇すみよ委員
- 5 協議事項
 - (1) 第3回守山市水道ビジョン策定懇話会からの修正点について
資料1を基に説明。
 - (2) 守山市水道ビジョン(案)に係る市民説明会の結果について
資料2を基に説明。

【主な意見】

○伊藤委員

市民説明会の参加人数が少なかったのは、時期的に参加しにくい、興味関心が低いのではないか。意見聴取のあり方には検討が必要なのではないか。

⇒事務局

市民参画の規定では、市民が参加できる2つの取組をすることとされている。今回のビジョン策定にあたり、全4回の懇話会と市民説明会を選んでいる。

○森田委員

市民が水道に対する興味を持ってもらいたい。水道の経営がこの10年より、さらに次の10年先が安定的となるビジョンとなればよい。

Q. 資料P.98の6.3.1.②にある企業債算高確保は具体的にどういうことか。

A. 水道サービスの見直しを行う。たとえば、水道料金の収納証明書を現在は無料で発行している。特定の利用者だけがサービスを受けているので、手数料新設の検討が考えられる。また減免など市の施策を行う場合は、一般会計からの繰入金をもらう。

○三品委員

懇話会委員になって水道に興味を持てた。

Q. 市職員は数年で異動することが多い。専門性の高い方がいればもっとコストはさがるのではないか。民の力をもっといれてはどうか。

A. 金徴収、検針、維持管理にてできる範囲で民間委託している。経営面では税理士とのアドバイザー契約など、専門の方の力を借りて今後運営する。

○山田委員

Q. 資料 P. 81 の経営目標にある「適正」とはどれくらいか（西谷委員への質問）

A. 災害時に1年間対応できる現金残高。運転資金+ α 。

○山田会長

- ・市民の意見がでなかった。守山は恵まれているので極端な意見はでないと思っていた。
- ・資料では、前半部分が切り貼りされ整理されていない印象。字が見つらいし、おかしい表現も多々ある。市民から見た視点でチェックを。

○西谷委員

市民説明会で参加数がゼロであったのは、ある意味良かった。和歌山市の水管橋のニュース等で報じられているが、水道に危機は市民には感じられていない。今後料金値上げになれば、市民の関心が高まる。

○伊藤委員

- ・今回のビジョンに経営は厳しい状況であると書き添えられないか。